

学術交流協定締結記念講演会

人権と平和のために

— ノグンリ虐殺の真相を究明する活動 —
Truth-finding Activities of No Gun Ri Massacre

チョン・クド ノグンリ平和記念館館長
(ノグンリ国際平和財団理事長) ※逐次通訳あり



1955年韓国生まれ。経営学博士。

ノグンリ虐殺事件は、事件で幼い息子と娘を失ったチョン・ウニョン（鄭殷溶）氏（チョン・クド（鄭求燾）氏の父）が、1994年に出版した本によって韓国内で知られるようになった。父親（前ノグンリ虐殺事件遺族会会長）が犠牲者のために事件の真相解明を求める活動を始めたことから、1991年よりその活動を手伝いノグンリ特別法の成立に尽力した。以来24年間人権と平和の促進のための活動を行っており、ノグンリ平和公園設立にも携わった。現在はノグンリ平和祈念館長としての活動のほか、ヨンドン大学（YeongDongUniversity）で教鞭もとる。

〔日時〕 2015年11月23日（月・祝） 16:00～18:00（15:40開場）

〔会場〕 国際平和ミュージアム会議室（アカデメイア立命21 2階）

〔主催〕 立命館大学国際平和ミュージアム

〔共催〕 立命館大学コリア研究センター

老斤里（ノグンリ）事件とは・・・

朝鮮戦争初期の1950年、5日間に渡るアメリカ軍による無差別攻撃により、約400人ももの市民が犠牲になった。約50年間その事実は知られてこなかったが、1994年に『ノグンリ虐殺事件－君よ、我らの痛みがわかるか（邦題）』（チョン・ウニョン（鄭殷溶）氏著）が出版されたことにより知られるようになった。現在では、事件があった地域はノグンリ平和記念館などが建つ公園に整備され、多くの人々が訪れている。



お問い合わせ

立命館大学国際平和ミュージアム
〒京都市北区等持院北町56-1

TEL075-465-8151 FAX075-465-7899